



新しい世紀の
プロジェクトが
平田村
新総合計画

自然と対話し、守る

共生の大地

阿武隈高地の豊富な自然は、四季の移り変わりの美しさとともに、限りない恩恵を与えてくれます。

生命の源である水、水をつくる森林。源流のこの地域では、大昔からその森林を守りつづけてきた誇りがあります。私たちは、これからも自然と対話し、先人から受け継いだ平田村の自然を、次世代に引き継がなければ…。ここは、自然と人の共生の大地。

世紀を越えた ふたつのプロジェクト

◎ジュピアランドひらた

「ジュピアランドひらた」は、蓬田岳山麓に広がる豊富な緑に囲まれた自然の遊び場です。

標高952m蓬田岳への登山、自然観察遊歩道、バーベキュー広場、春の芝桜…。春夏秋冬それぞれの自然を体験し、学び・楽しむことのできる、自然と人との交流空間です。

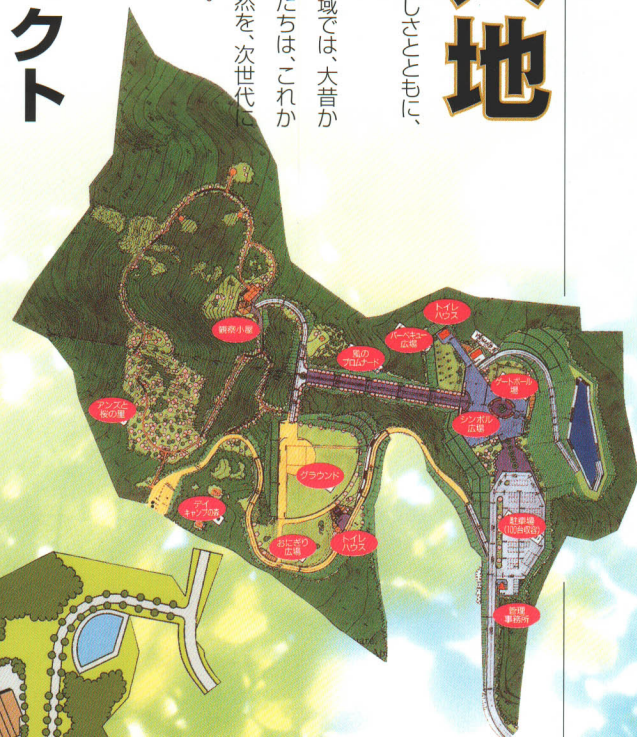
また、自然と人・人と人の、新しい付き合い方・新しい出会いの拠点となるのも「ジュピアランドひらた」です。

資源を活かす

創造の大地

自然、人、伝統が息づき、文化が生まれる…。その二つが限りない可能性を秘めた平田村の大切な資源です。知恵と情熱で磨きをかけて、さらに新しい価値へ。

近年の交通体系の著しい進展は、平田村に新しい地の利をもたらす。平田村の資源は、さらに魅力を加えて、いきいきと輝きだしました。ここは平田村、豊かな資源が素材の創造の大地。



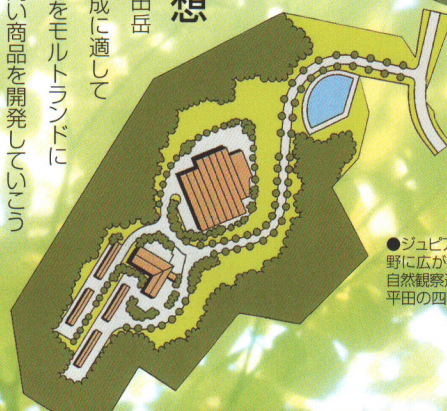
◎モルトランド構想

「モルトランド構想」とは、蓬田岳

山麓の冷涼な気候が蒸留酒の熟成に適していることから、蒸留したての原酒をモルトランドに

寝かせ（熟成させ）、付加価値の高い商品を開発していくという構想です。

また、蒸留酒に限らず様々なものが試験貯蔵され熟成についての研究が進められています。



●ジュピアランドひらた／蓬田岳山麓の16.7haの国有林野に広がる住民の憩いとやすらぎゾーン。シンボル広場、自然観察遊歩道、芝桜など、すぐれた自然を活かした施設が、平田の四季とやさしいハーモニーを奏でます。

平田村に隣接する福島空港は、平成11年に国際空港化と滑走路2,500m延長を実現し、人・モノ・情報の交流を一段と進展させました。また、トライアングル・ハイウェイ構想も着々と進行し、平成7年に着工されたあぶくま高原道路は、平成13年3月に一部開通が予定されています。このように、高速交通の整備が進むことで、地域とのネットワーク化はさらに充実したものとなり、平田村の交通の利便性は飛躍的に向上し、あぶくま地域の新しい役割に期待がかかります。